



「おさんぽ」

お散歩に出かけた2歳児の子どもたち。
暖かい日差しの中、楽しい会話を弾ませながら歩きました。



鳥さん、いっぱいある。
おふねだ、大きいね。

魚の馬車まで歩くと、ベンチに座ってちょっと休み。



ちょうどその時、たくさんの観光客の方々が通りかかりました。

こんにちは！
こんにちは！



子どもたちの元気なあいさつに観光客の方々はびっくり！



まあ！
こんにちは！
2歳！
かわい！
いくつ？
元気だね。
ほくも。

子どもたちのくたくたのないあいさつに観光客の方々も笑顔で会話を交わす場面がありました。
あいさつをきっかけにいきなり感じさせられるエピソードでした。

「おともだち」

0歳児のLちゃんは、お部屋でMちゃんが登園してくるのを待っていました。
まだ言葉で伝えることはできませんが、Mちゃんを見つけるとトコトコ。



「おはよう」のアイコンタクトと手をパッチン！
ステキな朝のあいさつです。

Mちゃんが「ジャンパーやくつ下を脱ぐ」ときもLちゃんはうれしそうにお手伝いをします。



いつもMちゃんが「おかあさんにしもらっていることをLちゃんは見ていたのさよう。」
「Lちゃんもお手伝いしてくれませんか？ありがとうございます。」

お気に入りの曲に合わせて身体を動かすことも楽しむようになってきたLちゃんとMちゃん。



あそびを通して人やものかかわるきっかけは、どんどん広がっていきます。

身の周りのことを見たり聞いたり触ったりして、感覚覚醒を確かめようとする子どもたちの姿を温かく見守りながら好きなあそびをじっくりと楽しむことができるよう援助していきたいと思っています。

